

V 交通違反防止のケーススタディ

ケース 1

一般道で、トンネルが開通してできた長い下り道、アクセルを踏まなくてもスピードが出てしまう。今日、気づいたら制限時速を30km超えていた・・・。

問題点

- ・
- ・
- ・

対策

- ・
- ・
- ・

効果等

- ・
- ・
- ・

～ このケースの解答例 ～

- 問題点・普段からスピードが出やすい道路であるという認識があった。
- ・ 重大な交通事故を起こしかねない制限速度オーバーに気づかずに、注意散漫で運転していたのではないか。
 - ・ 警察に検挙されると運転免許証の停止処分を受ける速度違反となっていた。
- 対 策・オーバードライブをオフにしたりシフトダウンしたりして、エンジンプレーキが効く状態で運転し、スピードをコントロールする。
- ・ 制限速度を正確に把握し、スピードに注意しながら運転する。
- 効果等・交通三悪の一つであるスピード違反による大事故を防ぐことができる。
- ・ エンジンプレーキの有効活用で、下り坂でブレーキ多用により突然ブレーキが効かなくなるような事態を防ぐことができる。
 - ・ 検挙され免許停止処分を受けて、2年間私有車運転登録ができず、出張に私有車を使用できないような事態を防ぐことができる。
- 法令等・地公法第32条（法令等及び上司の職務上の命令に従う義務）
- ・ 地公法第33条（信用失墜行為の禁止）
 - ・ 道路交通法第22条（最高速度）
- 等